



新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

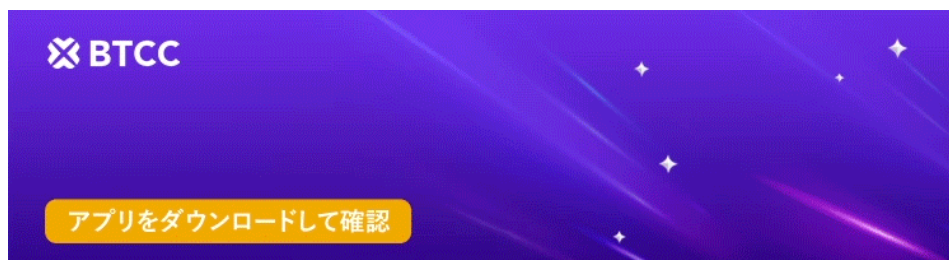


ステラルーメン (XLM) とは？ 仮想通貨の特徴、 将来性を解説！

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-stellar-lumens-xlm-virtual-currency-features-future-potential-explained>

皆さん、[ステラルーメン \(XLM\)](#) という [暗号資産 \(仮想通貨\)](#) を聞いたことありますか？ [ステラルーメン \(XLM\)](#) は [ビットコイン \(BTC\)](#) や [イーサリアム \(ETH\)](#) などのメジャーな仮想通貨と比較すると、認知度はやや低いといえますが、取引量がビットコイン、イーサリアム、[リップル](#) に次いで多い月もあるなど、国内では非常に大きな注目を集めています。そこで、今回は仮想通貨ステラルーメン (XLM) とは何か、その特徴、将来性などについて詳しく解説していきます。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

ステラルーメン（XLM）とは

ステラルーメンは、2014年7月に登場した仮想通貨です。ジェド・マケーレブ(Jed McCaleb)氏が中心となって作られました。

該当仮想通貨の正式名称は、「ステラルーメン(Stellar Lumens)」です。各仮想通貨にはそれぞれ特徴がありますが、ステラルーメンの特徴は個人向けの決済や送金システムの効率化を目指して作られていることです。

2001年に、ジェド・マケーレブ氏は、eDonkey2000と呼ばれるP2Pファイル共有の会社を共同で設立しました。その後、2010年には当時最大の[仮想通貨取引所](#)であったマウント・ゴックス(Mt GOX)を創業するに至ります。

しかし、マウント・ゴックスはハッキングにより破綻してしまい、その後にステラ開発財団が設立されて仮想通貨取引が開始されたというのが、ステラ誕生の経緯です。

ステラルーメン (XLM) の特徴

■ ステラルーメンの特徴一：中央集権体制を採用

ステラルーメンでは、中央集権体制が採用されています。中央集権体制の場合のメリットは、プロジェクトを開発するうえで意志決定がスムーズになりやすいことです。運営者同士の意思疎通がしやすく、意見をまとめやすいことが中央集権体制の特徴だといえます。

中央集権体制であるため、ステラ開発財団がプロジェクトに関する権力を保持することが可能になります。その結果、プロジェクトがスムーズに進行でき、新たな技術などの開発に傾注することが可能になるでしょう。

また、運営元が明らかになることでトレーダーからの信頼も得やすくなります。しかし、中央集権体制であるということは、マイニングは限られた人しかできないことを意味します。そのため、ステラルーメンでは個人のマイナーの参入は難しいといえます。

■ ステラルーメンの特徴二：送金や決済にかかるスピードがより速い

ステラルーメンはブリッジ通貨であり個人間の決済や送金を素早く行うことが可能です。手数料が安く、利用しやすいことが仮想通貨ステラルーメンのメリットです。

ステラの優れている点の1つに、送金や決済にかかるスピードが速いことが挙げられます。

仮想通貨のなかでも代表的なビットコインの決済速度は約10分ですが、ステラルーメンの決済速度はおおよそ2~5秒です。数ある仮想通貨のなかでも、決済速度が群を抜いて速いことがわかるでしょう。

決済速度が速ければ、ユーザーにストレスがかかることなく取引を行う事が出来るため、国内で仮想通貨の決済利用が進めば、ステラルーメンの利用が広まっていくことが予想されています。

■ ステラルーメンの特徴三：送金手数料が安い

ステラルーメンの送金手数料は、0.01XLMです。これは、2021年6月21日時点の価格で円換算すると約0.3円になります。こうした送金手数料の安さから、ステラルーメンは個人間の送金などに利用されています。

個人間では少額の送金を複数回行う傾向があるので、手数料をほとんどかけずに送金することが可能だといえます。

そのため、少額の送金を繰り返し行いたい個人のトレーダーから選ばれている仮想通貨だといえるでしょう。

■ ステラルーメンの特徴四：毎年1%ずつ増える発行量

ステラルーメンの最初に発行された量は1000億枚です。発行量の上限は1兆枚に設定されており、上限に達するまで毎年1%ずつ増えることが特徴です。徐々に発行量を増やすことで価値が安定しやすくなり、急激に価格が高騰しづらくなります。

価格の変動が激しい場合には、日常的な決済手段として利用することが難しくなるケースもあります。

また、開発者のリップルの保有率が25%であるのに対し、ステラルーメンは5%と低めに設定されています。開発者の仮想通貨保有率が低いことで価格が安定しやすくなるといわれています。

■ ステラルーメンの特徴五：独自のコンセンサスアルゴリズム「SCP」を導入

ステラルーメンは、独自のコンセンサスアルゴリズム(SCP)を導入しています。SCPは取引の承認者が投票によって決まり、このシステムのことをバリデーダーといいます。

多くの仮想通貨では、不特定多数のユーザー間で取引承認が行われており、決済速度が遅いことがデメリットでしたが、ステラルーメンでは、合意の割合が低かった場合でも取引を承認することが可能になり、決済スピードの向上にもつながっています。

リップルが導入しているアルゴリズムがベースになっているため、リップルと似通った仮想通貨だといえます。リップルでは、80%以上の合意がなければ決済は完了しません。

80%以上の合意が得られなかった際には、[ブロックチェーン](#)は分岐します。承認の割合が低い場合でも決済されるということは、決済の承認中に分岐が起きるリスクを抑えられることを意味します。これによって、ブロックチェーンの脆弱性をカバーし、セキュリティを高めることにつながっています。

■ ステラルーメンの特徴六：開発者/運営者が非営利団体

ステラルーメンは、非営利団体のステラ開発財団(Stellar Development Foundation)が開発・運営していることが特徴です。非営利団体は給与の合計や四半期予算などを開示する必要があり、利益を得るための活動は一切禁止されています。

そのため、ステラは透明性と信頼性が高い仮想通貨だといえます。個人の投資家でも、安心して利用しやすいことがステラの成長につながっているといえるでしょう。



ステラルーメン（XLM）の将来性

ステラルーメンの将来性を考えれば、まずは大企業との提携の事です。ステラルーメンは、金融コンサルスのデロイトやフランスに本社を構えるTEMPOなど多くの大企業と提携しています。IBMといった大企業も、ステラとの提携に乗り出しています。大企業がステラと提携する理由の1つとして、運営目的が明らかになっている点が挙げられます。ステラの決済速度の速さや手数料の安さは、海外への送金などにおいても実用性があることを意味します。そのような利便性の高さから、大企業との提携につながり多くのトレーダーの信用を獲得しています。ただし、大企業との提携があった後には価格が変動しやすいことが仮想通貨の特徴ですので、ご注意ください。

そして、リップルの動向を注目すべきです。通貨価値が安定しがちなステラルーメンですが、リップルの価格変動に左右される傾向があるため、仮想通貨取引所などでリップルのハッキングがあった場合は注意が必要です。

また、東南アジアとイスラムでの拡大も注意すべきです。ステラは、東南アジアのマレーシアやインドネシアなどで実用化されています。東南アジアでステラルーメンの実用化が進んだ背景として貧困層が銀行口座を持っていないという点が挙げられます。

最後は、管理者による仮想通貨市場を介入する可能性があるとのことです。ステラルーメンに関する今後の動向を知る上では、管理者による市場介入についても理解しておくことが欠かせません。トークンとは仮想通貨を表すことであり、バーンは燃やすことを意味します。つまりトークンバーンとは、発行した仮想通貨の枚数を強制的に減らす行為のことをいいます。いわゆる市場介入が行われたということです。仮想通貨枚数が減少したことによって、残った仮想通貨の希少性は高まりました。その結果、ステラルーメンの価格に上昇がみられました。今後も、管理者による市場介入が想定される可能性はあり、その介入はステラの価格に大きな影響を与える可能性は否定できません。

では、ステラルーメンについての解説はここで終わります。BTCCでステラルーメン先物の取引方については、下記の記事をご参照ください。

関連: [BTCCでステラルーメン先物取引のやり方【初心者向け】](#)

また、他の主要暗号資産の基本事項や買い方などについて興味を持つ方は、下記の記事をご覧ください。

【関連】

[ビットコイン（BTC）とは？その仕組みをわかりやすく解説](#)

[ビットコインキャッシュ（BCH）の機能を分かりやすく解説](#)

[イーサリアム（ETH）とは？基本事項や特徴をわかりやすく解説](#)

[イーサリアム\(ETH\)の今後・将来性をわかりやすく解説](#)

[ドージコイン\(DOGE\)とは? 基本事項をわかりやすく解説](#)

[4ステップでビットコインの買い方をわかりやすい解説](#)

[ステーブルコインとは? 特徴から種類までわかりやすく解説](#)

[ダイ\(DAI\)とは? 概要・特徴などをわかりやすく解説](#)

[ダイ\(DAI\)の仕組みは? 発行から価格維持までの仕組みを解説](#)

[ステーブルコインUSDDとは? トロン基盤のUSDDがローンチ](#)

[【最新】2022年ドージコインの買い方 | 暗号資産取引ならBTCC](#)

[暗号資産レバレッジ取引とは? おすすめ取引所も紹介!](#)